



屋内のようす

旧松澤家住宅は、弘化元年(1844)に建てられたと伝わる、北区浮間地域にあった古民家です。浮間地域は、荒川の河川改修以前はたびたび洪水にみまわれた場所であったため、1~2m程度土盛りした敷地(水塚)に建物を建て、主屋の屋根裏は洪水の際の避難場所として使われました。箱棟のついた屋根が特徴的な主屋は、食い違い四間取りで、土間脇にウマヤが接続しています。主屋より建築年代が古いと伝わる倉屋とともに、「赤羽自然観察公園」に移築復原されました。



倉屋

きゅうまつざわけじゅうたく
旧松澤家住宅
北区指定有形文化財(建造物)